

各位

上場会社名 FDK株式会社
 代表者 代表取締役社長 望月 道正
 (コード番号 6955)
 問合せ先責任者 広報・IR室長 平野 芳晴
 (TEL 03-5715-7400)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年10月28日に開示した平成28年3月期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	81,000	2,300	1,700	1,300	4.64
今回修正予想(B)	80,000	1,300	300	3	0.01
増減額(B-A)	△1,000	△1,000	△1,400	△1,297	
増減率(%)	△1.2	△43.5	△82.4	△99.8	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	76,365	2,211	504	961	3.43

修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境は第3四半期まで概ね堅調に推移しましたが、第4四半期に入り、中国経済の減速や原油価格下落による国内外における景気減速懸念、さらに急激な為替変動および長引く国内個人消費の低迷により売上の伸びの鈍化が顕著になってきております。このような状況のため、事業環境が一層の厳しさを増しており、ニッケル水素電池、リチウム電池ならびに液晶ディスプレイ用信号処理モジュール等で受注の延伸、所要減などによる売上減が生じる見込みです。

また、当第4四半期において、一部子会社における事業拡大に伴ない従業員数の増加が見込まれることが明確になったため、退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更いたします。この計算方法変更に伴う退職給付債務の増加ならびに上記の売上減の影響などにより営業利益が減少する見込みです。

さらに、円高に伴う為替差損ならびに持分法適用関連会社での構造改革に伴う固定資産減損などによる持分法投資損失などの営業外費用が増加する見込みとなったことから、通期の業績予想について上記のとおり修正いたします。

(注意事項)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があることをご承知おください。

以上